

リケンテクノス株式会社
2013年3月期
決算説明会

2013年5月29日

- **会社の概要について**
- **決算概況について**
- **中期経営計画について**
- **今期の業績予想について**
- **株主還元について**

会社の概要について

社名 **リケンテクノス株式会社**

設立年月日 **1951年（昭和26年）3月30日**

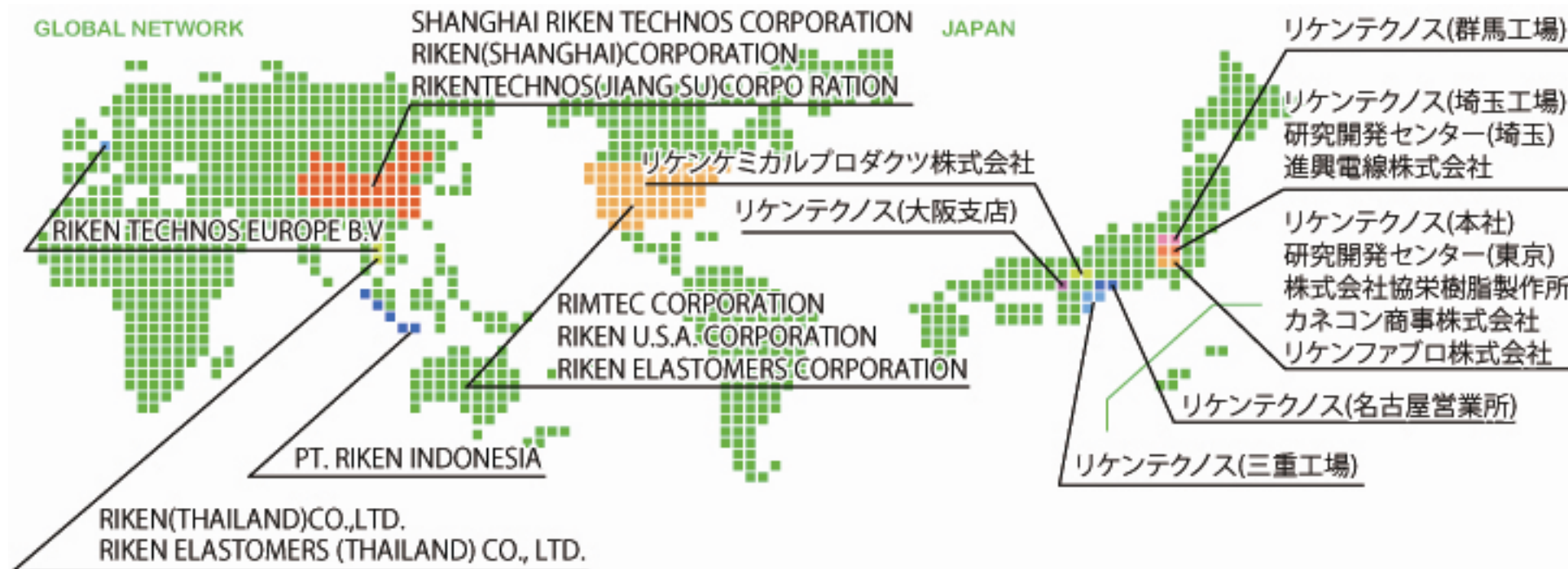
資本金 **85億14百万円**

代表取締役 **清水 浩**

従業員数 **725名**

本社所在地 **東京都中央区日本橋本町3丁目11番5号**

拠 点



海外関連会社： 10社

国内生産拠点： 3ヶ所

国内関連会社： 5社

コンパウンド事業の概要

コンパウンドとは、塩ビ他のベース樹脂に添加剤を何種類か混ぜ合わせ、新しい性質を持たせた複合材で、粒状の形状をしています。
押出成型や射出成型に使われます。



自動車内装・外装用(シートベルト、シフトレバー、モール、グロメット材など)



建材(断熱内窓サッシ用)



医療・食品用(チューブ、キャップライナーなど)

フィルム事業の概要

顧客のニーズに合わせた樹脂の配合・設計を行い、独自の加工技術で高品質のフィルム製膜を行っています。

また複数のフィルムを貼り合わせたり、表面に機能性材料をコートすることによって意匠性や機能性を付与したフィルム製品を製造しています。



建材用(キッチン扉、家具、ドアなどの表面化粧材)



鋼板用(冷蔵庫扉、ユニットバス壁面表面化粧材)



自動車内装用加飾フィルム



ガラス用(建築、車用)



AQUATECT R
(親水フィルム)₇

食品包材事業の概要

日本で初めて塩化ビニル樹脂ラップを開発した、パイオニアとして、「リケンラップ」、「ハイラップ」のトップブランドを築いています。

ラップ以外にもクッキングペーパーやお手元にお配りしている手袋など、多様な商品構成となっています。

海外展開としては、中国子会社で塩ビラップの生産・販売を行っています。



業務用ラップ
家庭用ラップ
手袋
クッキングペーパー
など

決算概況について

トピックス

2012年4月	ソリューション事業部 発足 高機能フィルム技術展 出展
2012年5月	人とくるまのテクノロジー展 出展 PT. RIKEN INDONESIAにて医療用塩ビコンパウンド生産工場 新設工事 着工
2012年8月	IWF (The International Woodworking Fair) 出展
2012年10月	リケンファブプロ株式会社 発足
2013年1月	RIKEN ELASTOMERS THAILAND 操業開始
2013年3月	群馬工場にソーラー発電所竣工

1. 世界経済の動向

中国やインド経済は減速期に入り、欧州も金融不安で低迷。タイ・インドネシアの好調維持や、米国の回復基調という明るい材料はあるものの今後に不安を残す

2. 産業別の動向

自動車業界は7月まで順調な回復を続けたが、秋口からの減産に加え、中国での反日運動のあおりを受けて生産が冷え込む。家電業界は、前年のエコポイント特需の反落などで個人消費が伸び悩み、低調に推移

3. 自然災害の影響

- ①東日本大震災：復興需要が本格化せず
- ②タイ大洪水：洪水被害後の売上回復に遅れ

2013年3月期の売上、利益の要約

単位：百万円、円

科目	2013年 3月期	2012年 3月期	前期比	増減率	2013年3月期 業績予想	達成率
売上高	73,543	75,222	▲1,679	▲2.2%	75,500	97.4%
売上総利益	10,319	9,913	+406	+4.1%	—	—
営業利益	1,883	2,353	▲470	▲20.0%	2,000	94.2%
経常利益	2,271	2,496	▲225	▲9.0%	2,000	113.6%
当期純利益	1,351	1,964	▲613	▲31.2%	1,400	96.5%
1株当たり利益	22.38	32.32	▲9.94	▲30.8%	23.15	96.7%

2013年3月期の地域別売上

単位：百万円

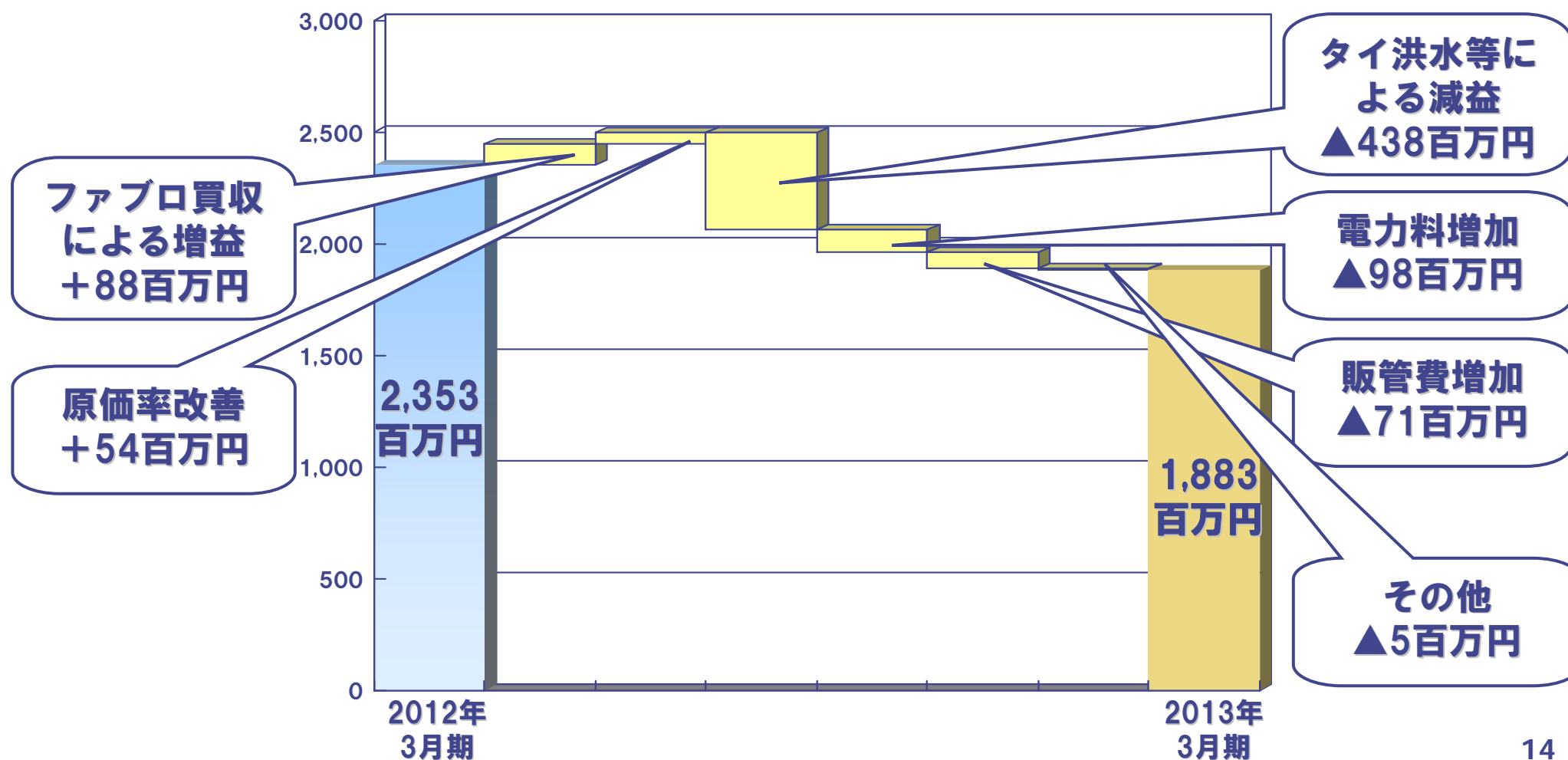
科目	日本	アジア	北米	欧州	その他	計
2013年3月期						
売上高	45,908	17,181	8,022	2,085	345	73,543
2012年3月期						
売上高	46,194	18,984	7,122	2,726	195	75,222
前期比較						
売上高	▲286	▲1,803	+900	▲641	+150	▲1,679

- ・アジアはタイ洪水、欧州は金融危機の影響を受け減少。
- ・米国は自動車・住宅の需要を取り込み増加。

営業利益の増減要因分析

営業利益

470百万円減 前期比20.0%減



連結貸借対照表

棚卸資産 +1,381
有形固定資産 +3,136
投資有価証券 +597

資産合計

68,998 百万円

前期末比 6,982百万円増

流動資産 40,389百万円

固定資産 28,609百万円

借入金 +3,902

負債合計

31,183 百万円

前期末比 4,432百万円増

流動負債 24,112百万円

固定負債 7,071百万円

純資産合計

37,814 百万円

前期末比 2,550百万円増

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科 目	2013年 3月期	2012年 3月期	前期比	増減率
営業キャッシュ・フロー	6,501	2,407	+4,094	+170.1%
投資キャッシュ・フロー	▲8,882	▲2,778	▲6,104	—
財務キャッシュ・フロー	+2,925	▲714	+3,640	—
現金同等物の増減額	+895	▲1,262	+2,157	—
現金同等物の期末残高	8,572	7,677	+895	+11.7%

営業CF : 当期純利益、売掛金管理強化、保険金の受取

投資CF : 設備投資の増加、子会社株式の取得

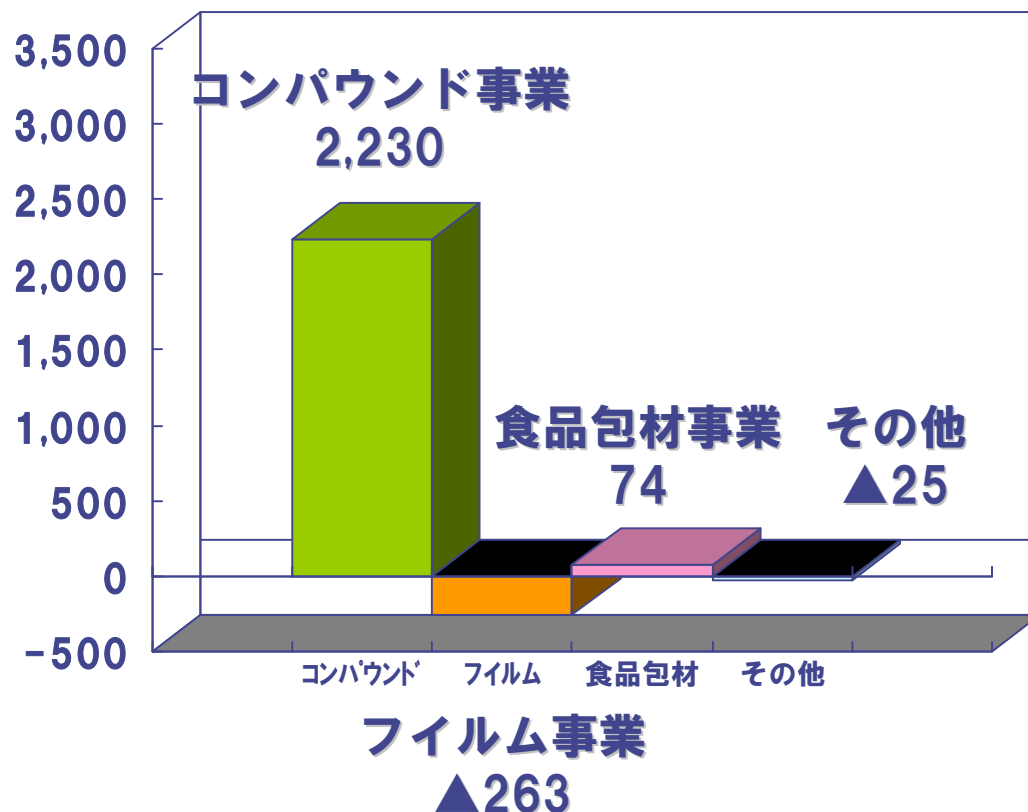
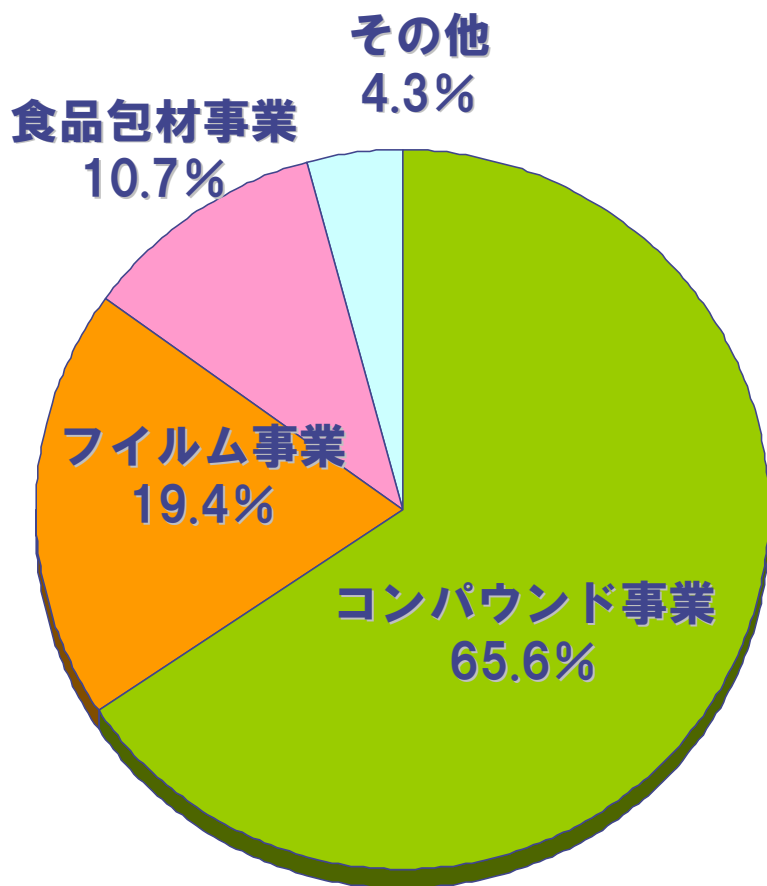
財務CF : 株式取得等による借入金の増加

セグメント別売上高構成比及び利益

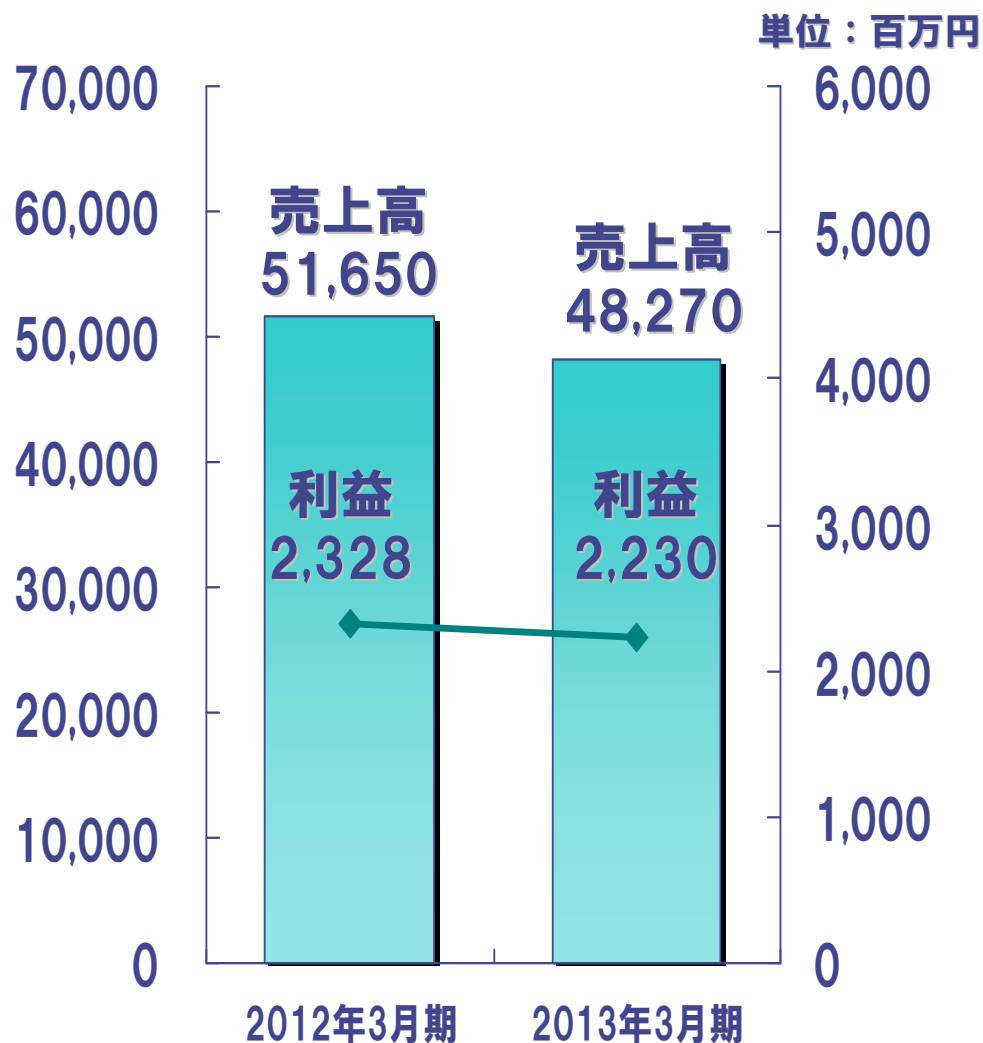
2013年3月期
売上高 735億円

2013年3月期
セグメント利益 20億円

単位：百万円



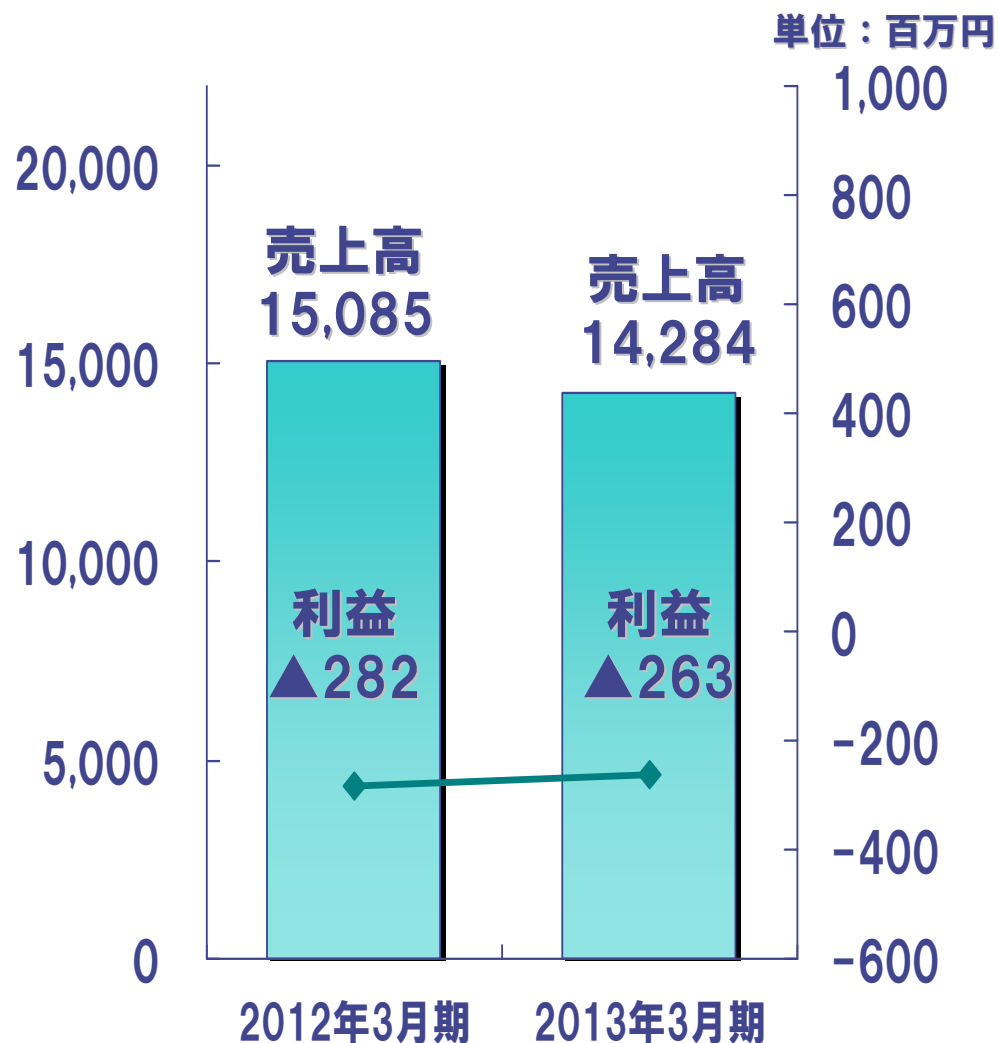
コンパウンド事業



3,380百万円減収 **98**百万円減益
 前期比6.5%減 前期比4.2%減

国内での震災需要が本格化せず、
 建材、電材用途で伸び悩み。
 自動車用途は中国での反日運動
 の影響を受け後半失速。
 インドネシア、中国、米国子会
 社は増収増益を果たし、タイの
 洪水影響による収益落ち込みを
 最小限に止める。

フィルム事業

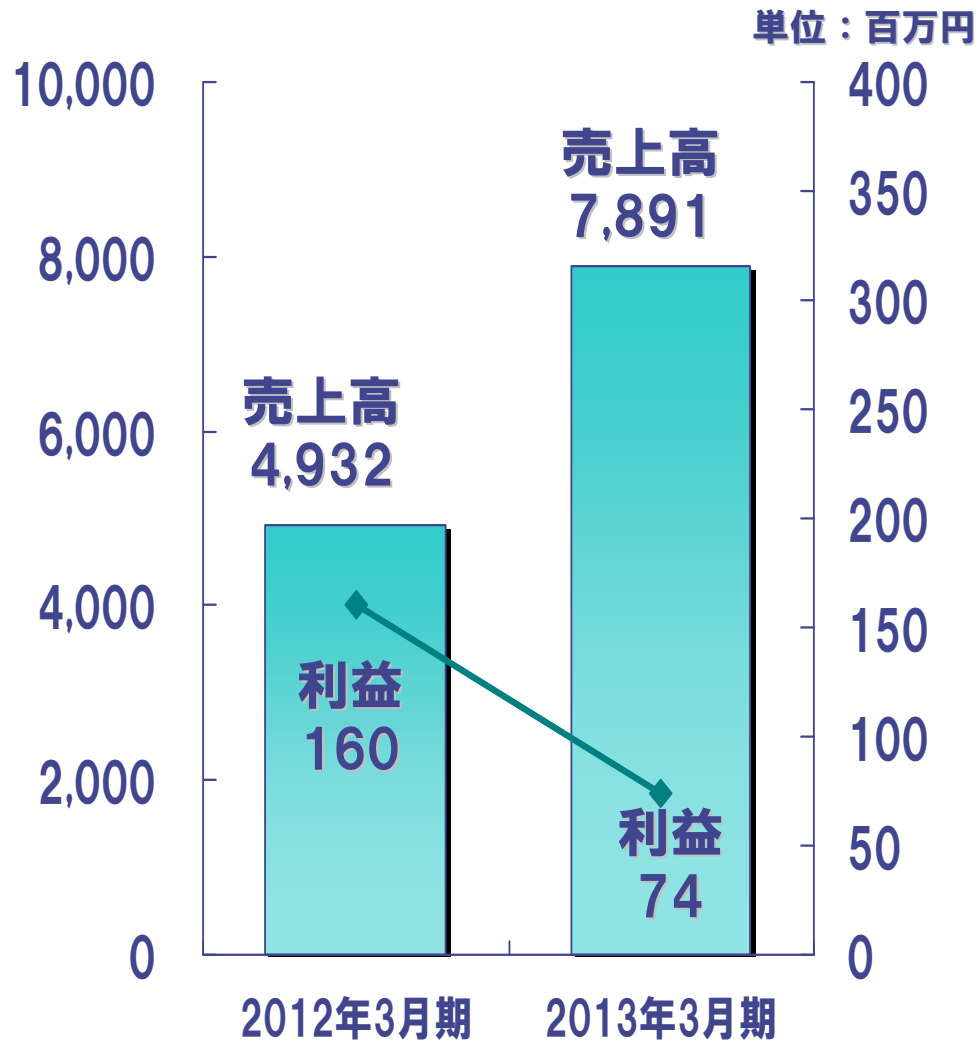


801百万円減収
前期比5.3%減

19百万円
収益改善

国内建装材市場はやや持ち直したものの、輸出は円高や、欧州金融不安の影響で低迷。光学用途はTV市場の低迷や製品サイクルへの対応の遅れにより売上低調。

食品包材事業



2,959百万円増収 **86**百万円減益
 前期比60.0%増 前期比53.8%減

国内は昨年の震災特需から一転し需要低迷。原材料価格上昇分の製品価格転嫁の遅れも影響。

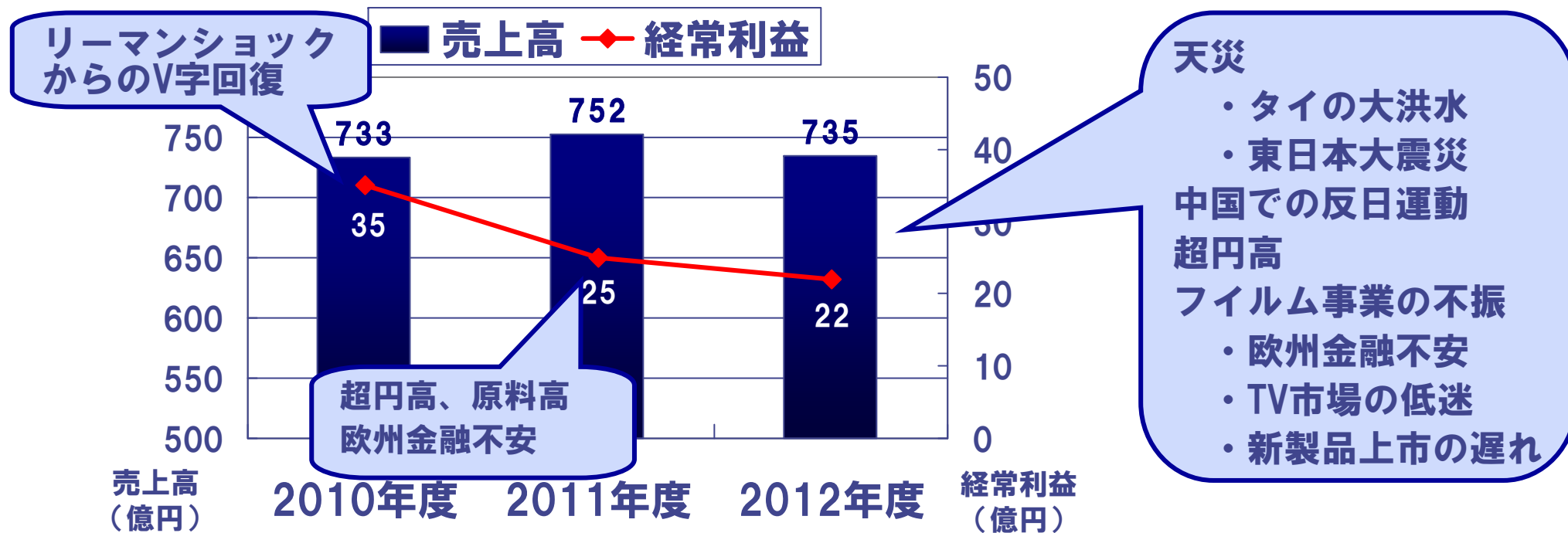
10月1日にリケンファブロを完全子会社化し、売上は増加したが、統合費用の負担等があり減益。

中期経営計画について

前中期経営計画の総括 (2010年4月～2013年3月)

計数目標と実績

	売上高	経常利益
目標	800億円	50億円
前期実績	735億円	22億円



主要テーマ別の施策と成果

① 体質の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新経営理念「リケンテクノス ウェイ」の策定と浸透 ・ 基幹システムの再構築
② 高機能製品事業の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・ 形状にとらわれない製品事業の立上げ ・ 高機能フィルムの拡販
③ 高収益化に向けた改革	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンパウンド生産体制の最適化 ・ フィルム生産ラインの集約化 ・ リケンファブロでの事業展開
④ 全事業のグローバル化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上海理研塑料有限公司の生産ライン増設 ・ PT. RIKEN INDONESIAの生産ライン増設 ・ RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD.設立 ・ フィルム海外生産検討開始

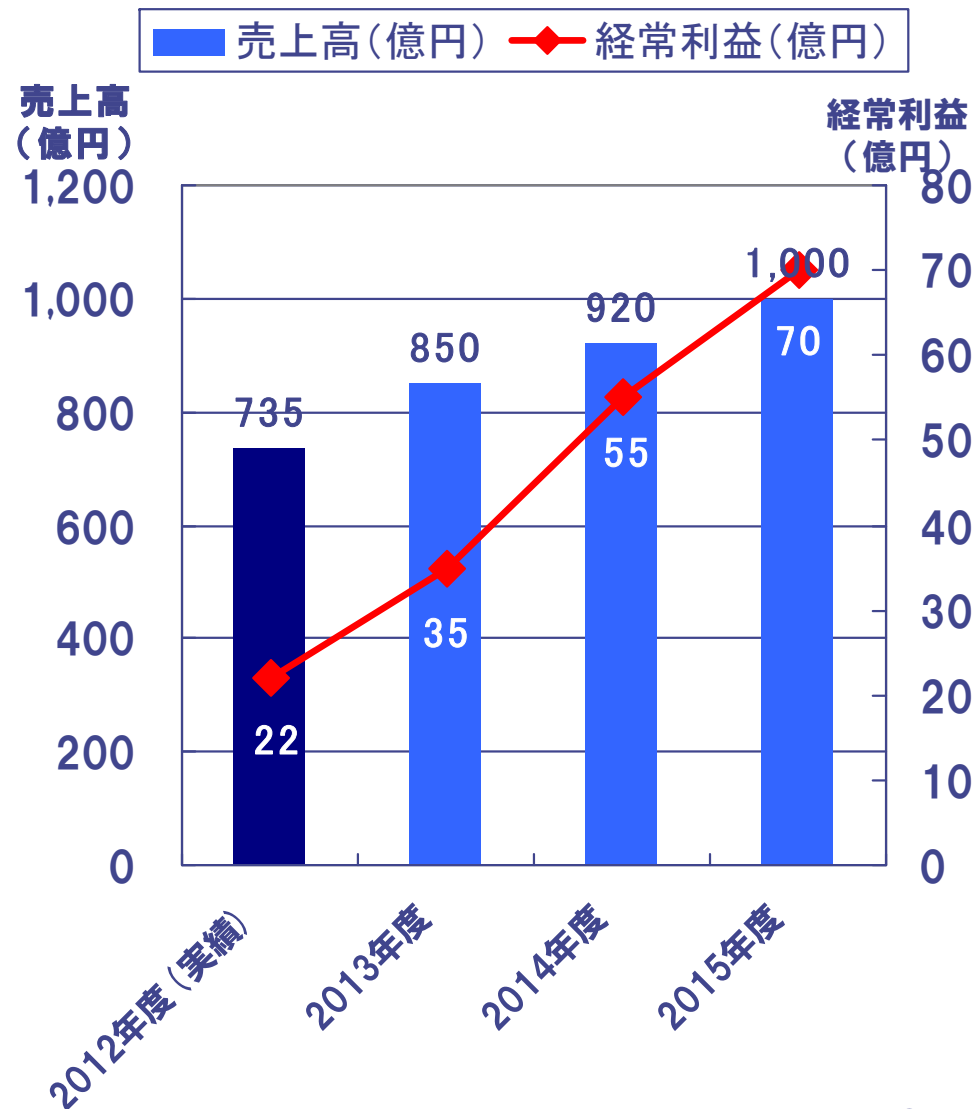
新中期経営計画 (2013年4月～2016年3月)

Dimensional Change

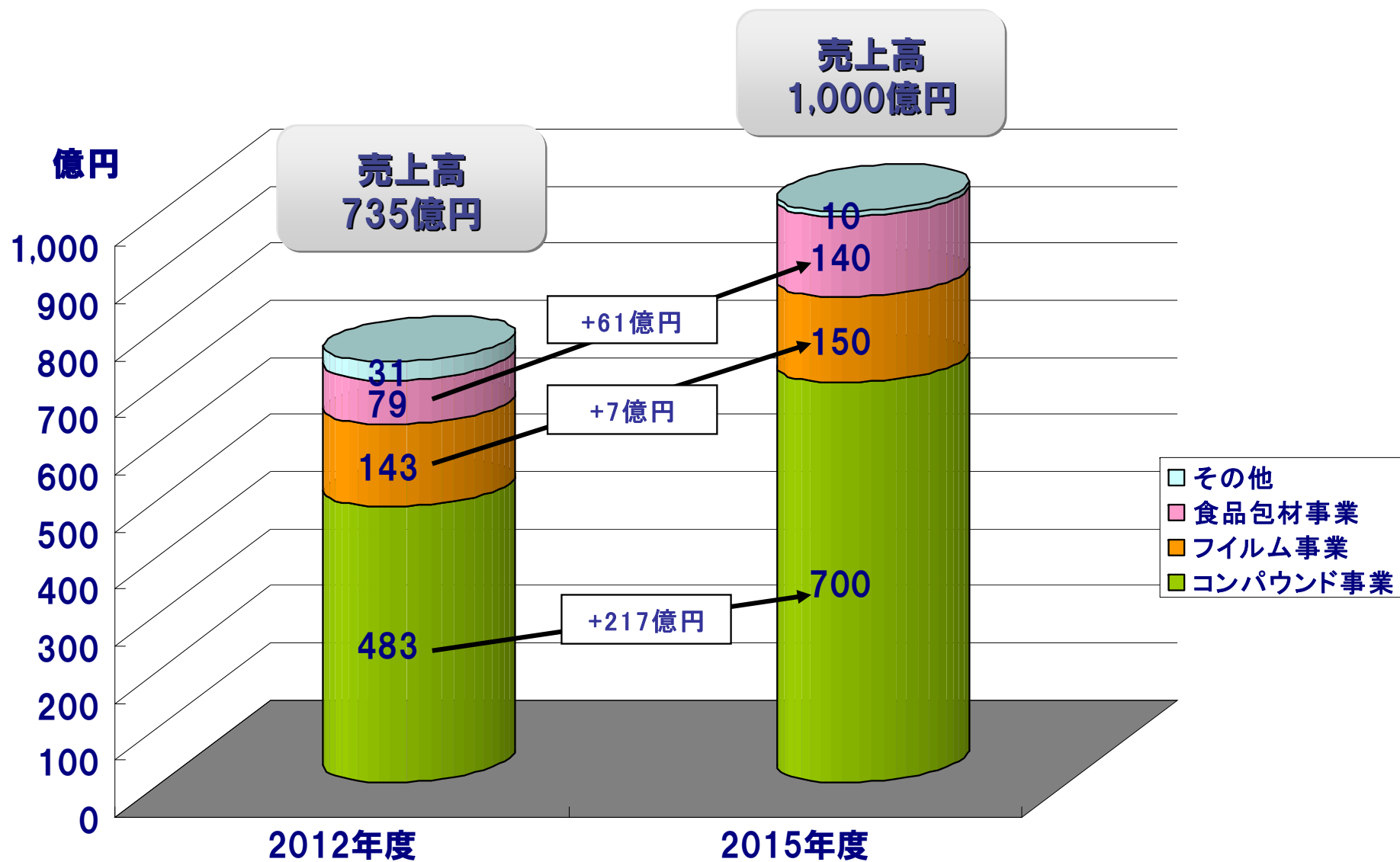
グローバル、更なるスピードアップ

計 数 目 標

(連結ベース)	2015年度 (最終年度)
売上高	1,000億円
営業利益	70億円
経常利益	70億円
当期純利益	40億円
新規 設備投資	国内 20億円 海外 23億円



セグメント別売上高構成



目標とする経営指標

ROS

売上高
経常利益率

7%

ROA

総資本
経常利益率

10%

ROE

株主資本
純利益率

10%

主要課題

1. コンパウンド事業の更なるグローバル展開

2. フィルム事業の抜本的な立て直し

3. ソリューション事業の事業化実現

4. 最適な営業推進体制の構築

5. 徹底した人材育成

コンパウンド事業

- 世界トップクラスのグローバルネットワークの確立
- エラストマーの国内市場シェア拡大と海外生産の拡大
- 高機能製品の早期上市
- 生産拠点の拡充と国内生産体制の最適化



フィルム事業

- マーケティング強化と顧客接点の増加
- 海外生産の実現と海外市場への拡販
- 高付加価値機能フィルムへの
経営資源集中による開発と上市



自動車

■コンパウンド

- 日本、米国、アジアの3拠点でのグローバル対応
- 日系自動車メーカーから全自動車メーカーへの展開
- ゴムから樹脂へ
- 新興市場への参入

■フィルム

- 高意匠、高機能フィルムの上市
- 電材用フィルムの拡販



医療・ヘルスケア

■コンパウンド

- 日本、タイ、インドネシアの3拠点でのグローバル対応
- BCP対応強化による安定的な供給

■フィルム

- マーケティングによる新市場参入を目指す

食品包材事業

- 事業統合によるシナジー効果の早期実現
- 業界No.1の立ち位置を利用した更なる拡大
- 中国事業との連携による収益拡大
- 販売チャネルの多さ、リケンラップ・ハイラップの2ブランドを生かした拡販

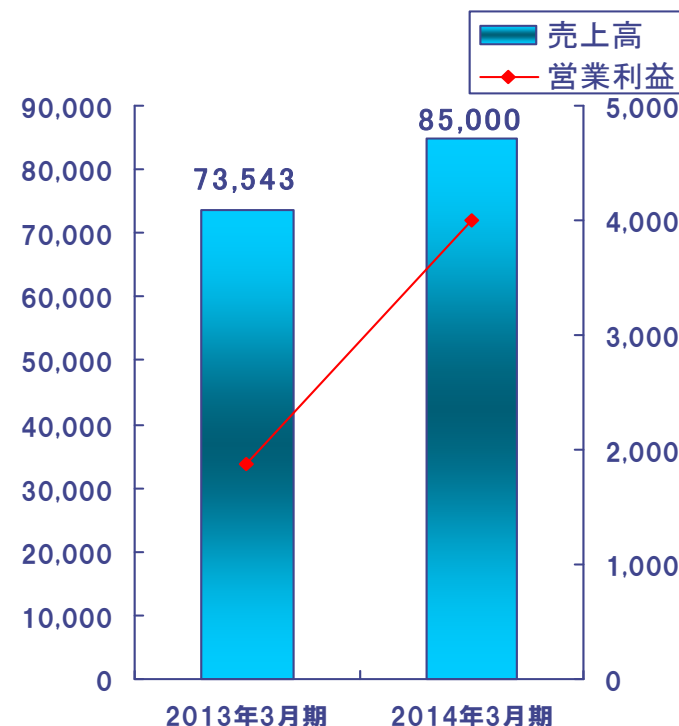


今期の業績予想について

2014年3月度の業績予想

単位：百万円、円

科目	2014年3月期 業績予想	2013年3月期 実績	伸び率
売上高	85,000	73,543	+15.6%
営業利益	4,000	1,883	+112.4%
経常利益	3,500	2,271	+54.1%
当期純利益	2,400	1,351	+77.6%
1株当たり利益	40.10	22.38	+79.2%

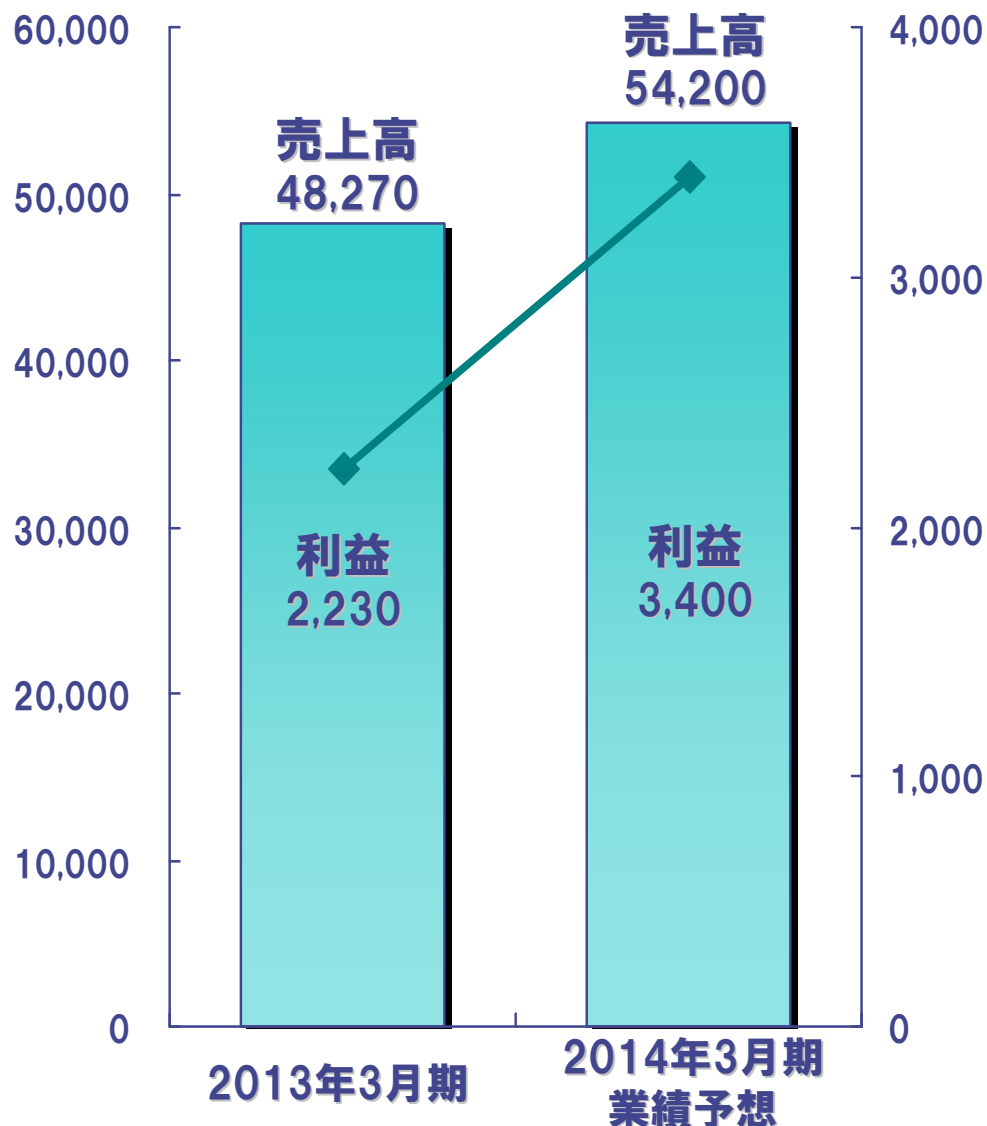


【業績予想のポイント】

国内は景気回復の兆しは出てきているものの、足元は依然として弱く、原材料上昇分の価格転嫁に苦戦。下半期の復興需要及び、消費税引上げの前倒し需要発生を見込む。海外はタイ、インドネシアは順調に上伸、中国は反日運動による落込みからの回復、米国は自動車、住宅の底堅い伸びを予想。

セグメント別業績予想（コンパウンド事業）

単位：百万円



5,930百万円増収**1,170**百万円増益
 前期比12.3%増 前期比52.5%増

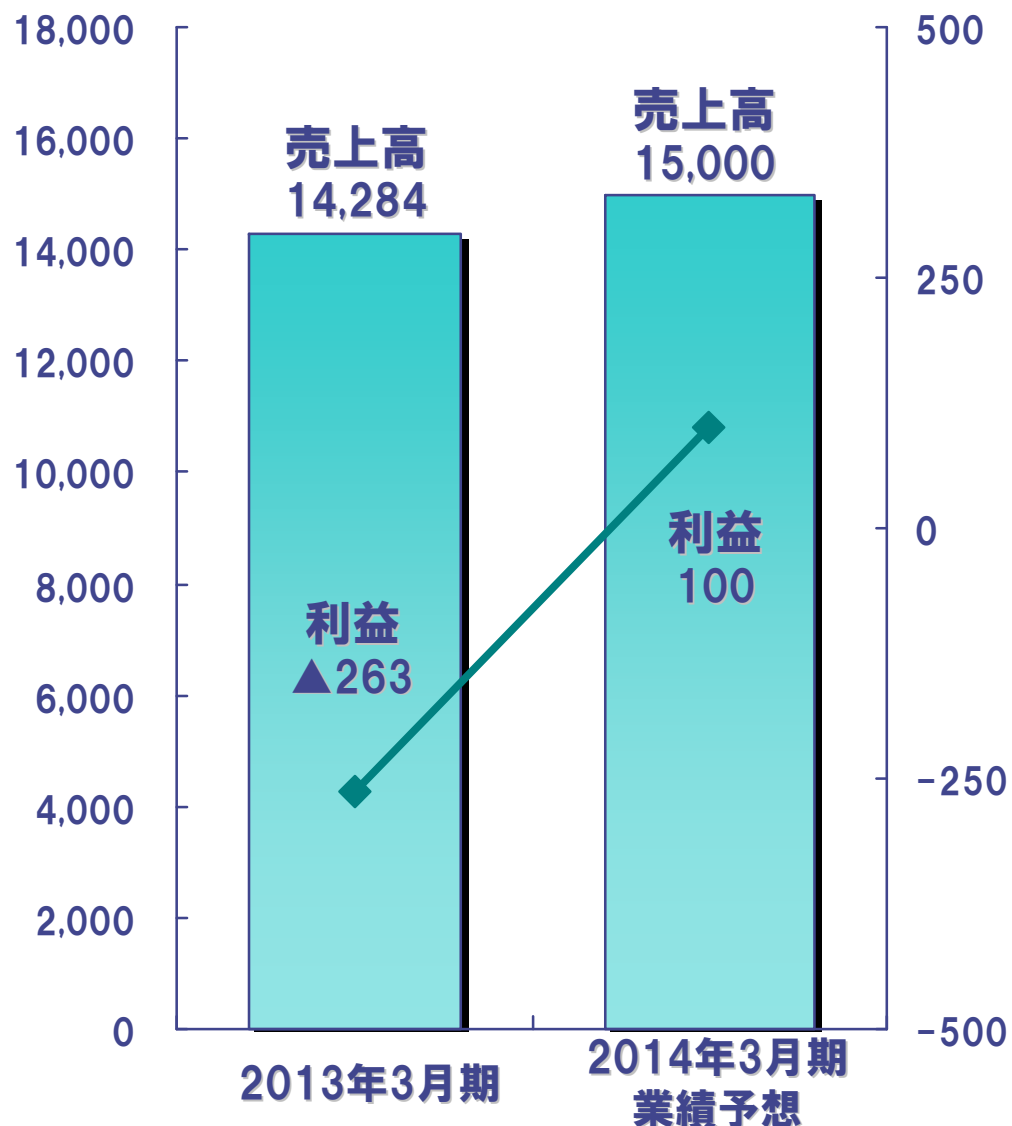
国内は、自動車・住宅等の伸びを確実に捉え増収を目指す。

海外は、成長著しい東南アジア市場を中心に、グローバル展開をさらに加速する。

タイのエラストマー新会社やインドネシアの医療用増設が増収に寄与。

セグメント別業績予想（フィルム事業）

単位：百万円

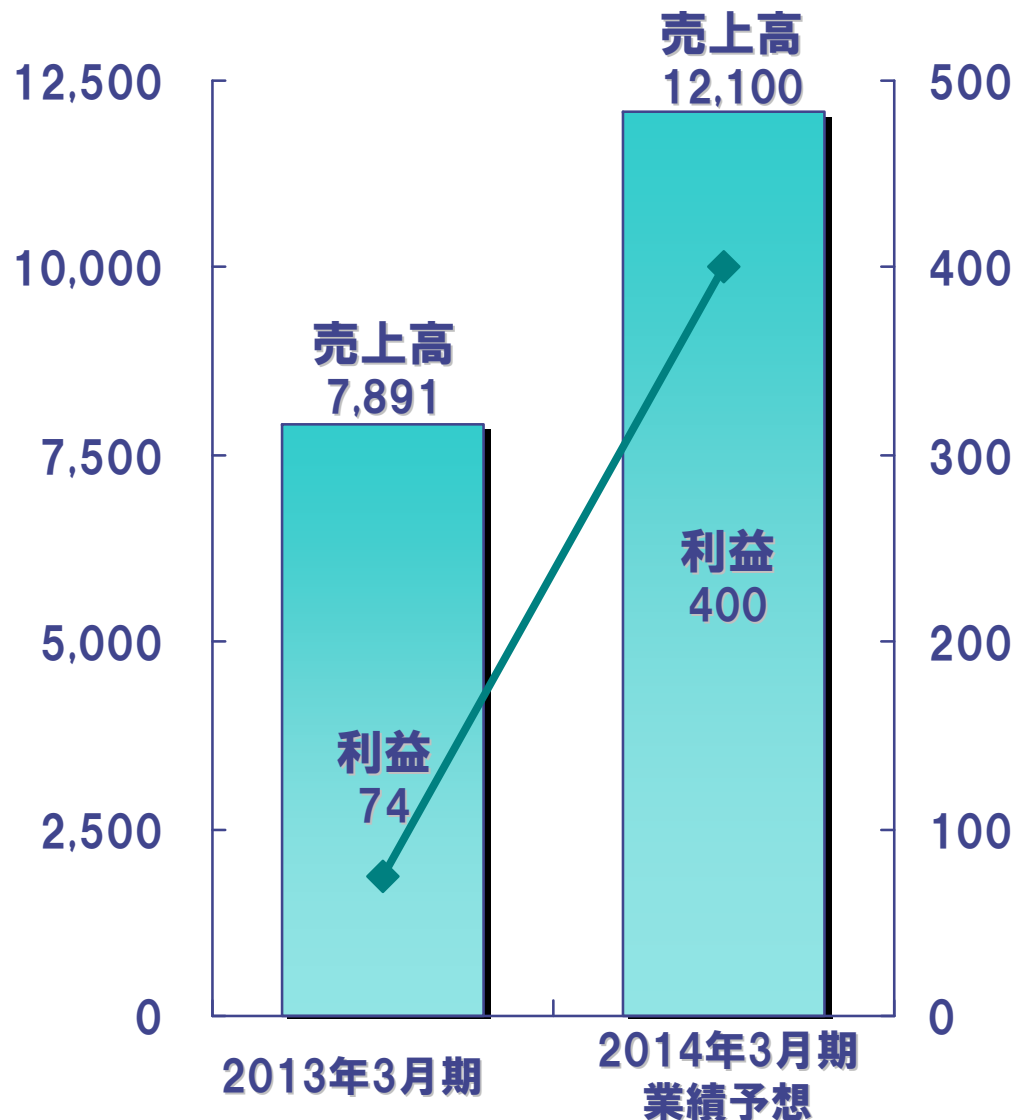


716百万円増収 **363**百万円増益
前期比5.0%増

壁装材を中心とした、堅調な建装材分野において、引き続き売上・利益を確保。
高意匠・高機能フィルムで新たな市場に参入する。
海外生産を含む生産集約でコストダウンをはかり、黒字化を目指す。

セグメント別業績予想（食品包材事業）

単位：百万円



4,209百万円増収 **326**百万円増益
 前期比53.3%増 前期比440.5%増

リケンファブロが1年分加わることで
 大幅な増収を見込む。
 事業統合によるシナジー効果を早期に
 確実に実現し、売上増加とコストダウン
 をはかり、増益につなげる。

株主還元

配当金

安定配当

(円、%)

	中間	期末	通期	配当性向	株主資本 配当率
2010年3月期	3.00	3.00	6.00	27.6	1.24
2011年3月期	4.00	4.00	8.00	24.0	1.60
2012年3月期	4.00	5.00	9.00	27.8	1.71
2013年3月期	4.00	5.00	9.00	40.2	1.69
2014年3月期 (予想)	4.00	5.00	9.00	22.4	1.68

※2014年3月期（予想）における配当性向及び株主資本配当率は、3月末現在で把握可能な数値にて試算しております。

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

お問い合わせ先

webmaster@rikentechnos.co.jp

経理部 前田